

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 28-4-010

補助事業名 平成28年度 被災者や被災地域が行う復興事業 補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 森のライフスタイル研究所

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

津波の塩害によって枯れた千葉県山武市蓮沼殿下海岸防災林の復興を進めて、被災地住民の生活環境の回復を図るとともに、それを通じて「海岸防災林と住民との共生」を創り直すことを目的とします。

(2) 実施内容

① 枯れてしまった木々の伐採およびチップ化

2016年5月28日に、ボランティア36名の参加を得て、手ノコギリを使った伐採活動を行いました。ボランティア作業では危険を伴う太い木々は専門業者へ委託して行いました。

伐採した木々は専用の重機を用いてチップにしました。



ボランティアによる枯れ木の伐採



伐採した木々を重機で破砕し、チップ化します

② チップの敷均しと転圧（整地）

大型重機を使って、撤去した既存木、塩害枯損木の破碎及びチップ化処理とそれによるマルチング（敷き詰め）活動を行いました。



チップを敷き均したあと転圧（整地）します

③ 植林をする位置のマーキング（目印棒設置）

2017年2月17日に、市民ボランティア18名の参加を得て、2月18日に行う植林する位置を明示する役割を担う目印棒の設置活動を行いました。



竹林整備から発生したものを使用した目印棒

（活動中は強風、強雨のため写真は撮れませんでした）

④ 植林活動

2017年2月18日に、市民ボランティア52名の参加を得て、クロマツの苗木2,000本の植林を行いました。



1本1本丁寧に植えていくことが50年後の海岸林の造成のために大切です

⑤ 竹柵の設置

苗木の生長を阻害させないために植林区域の周囲に竹柵を設置しました。



竹の柵を設置することで風や潮から苗木を守ります

2 予想される事業実施効果

- ✓ 当該地域の海岸保安林0.2ヘクタールの再生
- ✓ その地域に暮らす住民1,113名の暮らしが飛砂、塩害、風から守られるようになり、海岸林と住民との共生を創り直したための1歩目を踏む出すことに貢献しました。
- ✓ 本活動は、首都圏から日帰りで参加できる復興支援ボランティア活動です。東北へのボランティア参加の人数が減るなか、本活動をきっかけにして東北への参加継続の機運を高められたのではないかと考えています。
- ✓ 内陸部分の再生を進めることができたので、当該区域の海岸林の機能向上に効果をあげることができたと考えています。
- ✓ 本活動を通じて、参加者のボランティアマインドを醸成し、他の活動エリアへも活動の場を拡げていくことで、団体全体の事業発展性が期待できます。

3 本事業により作成した印刷物等

ございません。

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 特定非営利活動法人 森のライフスタイル研究所

住 所 : 〒162-0842

東京都新宿区市谷砂土原町2-7-19 田中保全ビル101号

代表者名 : 代表理事所長 竹垣英信

担当部署 : なし

担当者名 : 代表理事所長 竹垣英信

電話番号 : 03-6457-5345

F A X : 03-6457-5346

E-mail : info@moridukuri.or.jp

U R L : <http://moridukuri.or.jp/>